

INDB 発行市場レポート

～2022年版～(抜粋版)

2023年1月31日

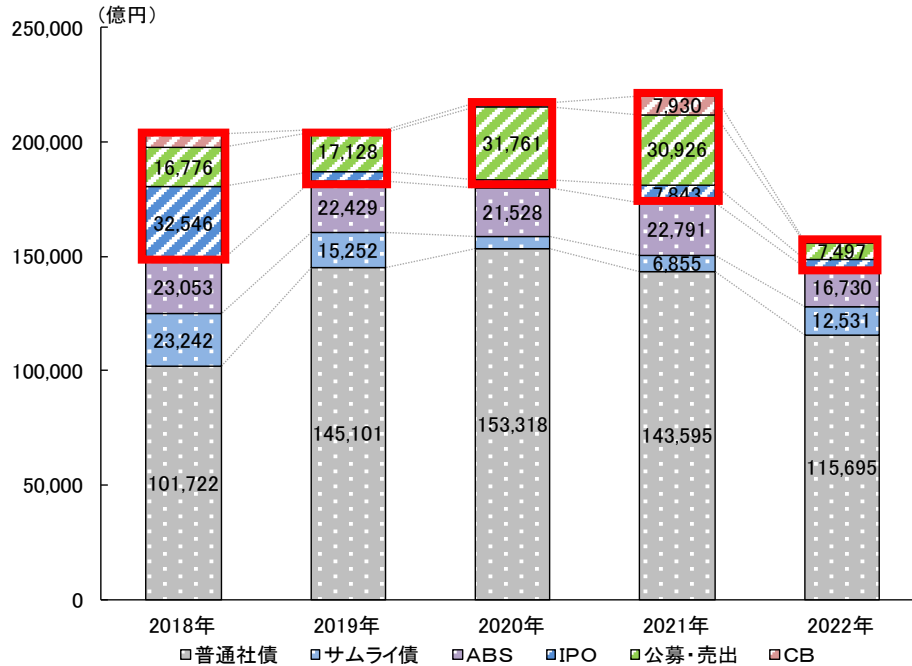
PRONEXUS
GROUP



株式会社 アイ・エヌ情報センター
I - N INFORMATION SYSTEMS, LTD.

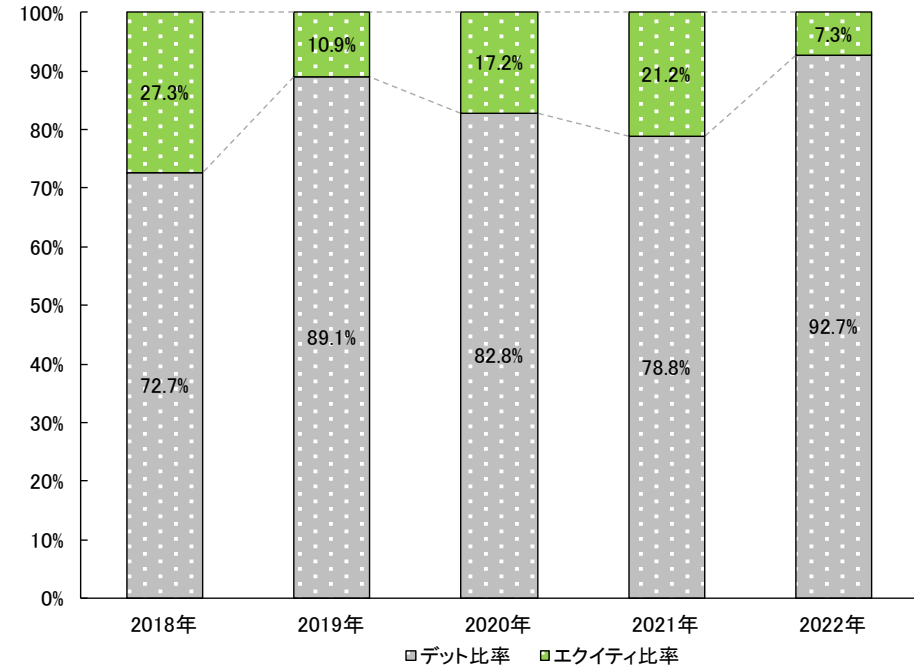
1-1. 資本市場における資金調達状況(財投機関債を除く)

【資金調達状況】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【デット・エクイティ比率】



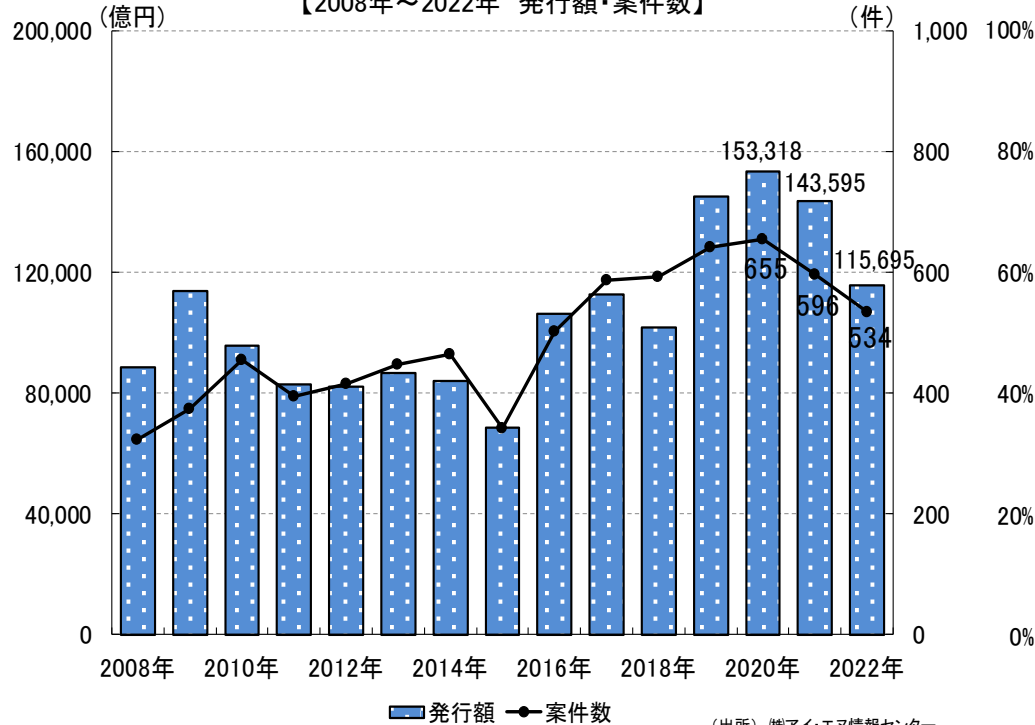
(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・資金調達状況は、前年比6兆3,509億円減の15兆6,431億円となりました。
- ・デット・エクイティ比率は、デット92.7%、エクイティ7.3%となりました。デット比率が90%を超えたのは、バブル崩壊以降初となりました。(参考 2008年:89.5%)

※【資金調達状況】の赤枠は、エクイティをあらわしています。

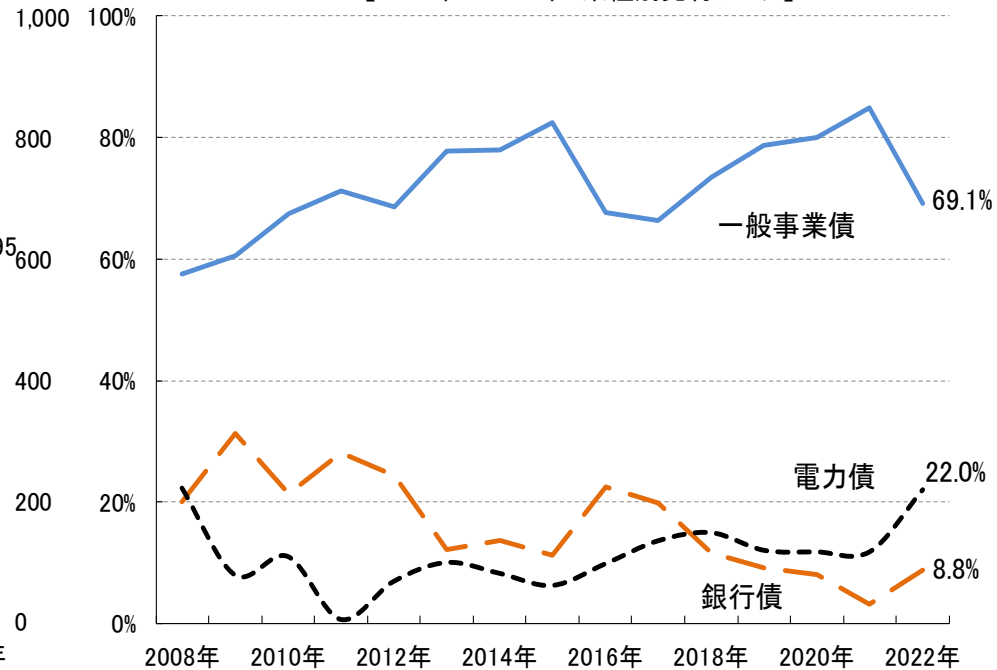
2. 普通社債（1）発行額

【2008年～2022年 発行額・案件数】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【2008年～2022年 業種別発行シェア】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・普通社債発行額は、前年比19.4%減の11兆5,695億円となりました。案件数は、前年より62件減の534件となりました。
- ・一般事業債発行額は、前年比34.4%減の7兆9,986億円となりました。
- ・銀行債の発行額は、前年比2.2倍の1兆239億円となりました。1兆円を超えるのは、2年ぶりとなりました。(参考 2020年:1兆2,470億円)
- ・電力債の発行額は、前年比49.4%増の2兆5,470億円となり、過去最高となりました。(参考 1998年:2兆4,650億円)

2. 普通社債（2）業種別／発行体別ランキング

【2022年 業種別ランキング】

順位 (前期)	業種	発行額 (億円)	シェア
1 (1)	その他	25,782	22.3%
2 (3)	電気・ガス業	24,519	21.2%
3 (2)	情報・通信業	12,607	10.9%
4 (9)	銀行業	10,239	8.8%
5 (4)	その他金融業	4,777	4.1%
6 (5)	陸運業	4,680	4.0%
7 (8)	電気機器	4,600	4.0%
8 (11)	化学	3,950	3.4%
9 (12)	不動産業	3,560	3.1%
10 (20)	機械	3,350	2.9%

【2022年 発行体別ランキング】

順位 (前期)	コード	発行体	案件数	発行額 (億円)	シェア
1 (1)	9984	ソフトバンクグループ	2	9,350	8.1%
2 (16)	9506	東北電力	17	5,447	4.7%
3 (3)	1290	西日本高速道路	9	5,366	4.6%
4 (13)	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	8	4,670	4.0%
5 (8)	9503	関西電力	12	3,960	3.4%
6 (2)	9518	東京電力パワーグリッド	9	3,900	3.4%
7 (8)	1288	東日本高速道路	12	3,750	3.2%
8 (18)	9508	九州電力	14	2,961	2.6%
9 (51)	9520	JERA	14	2,896	2.5%
10 (5)	1289	中日本高速道路	4	2,350	2.0%

※業種は、東証33分類。

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

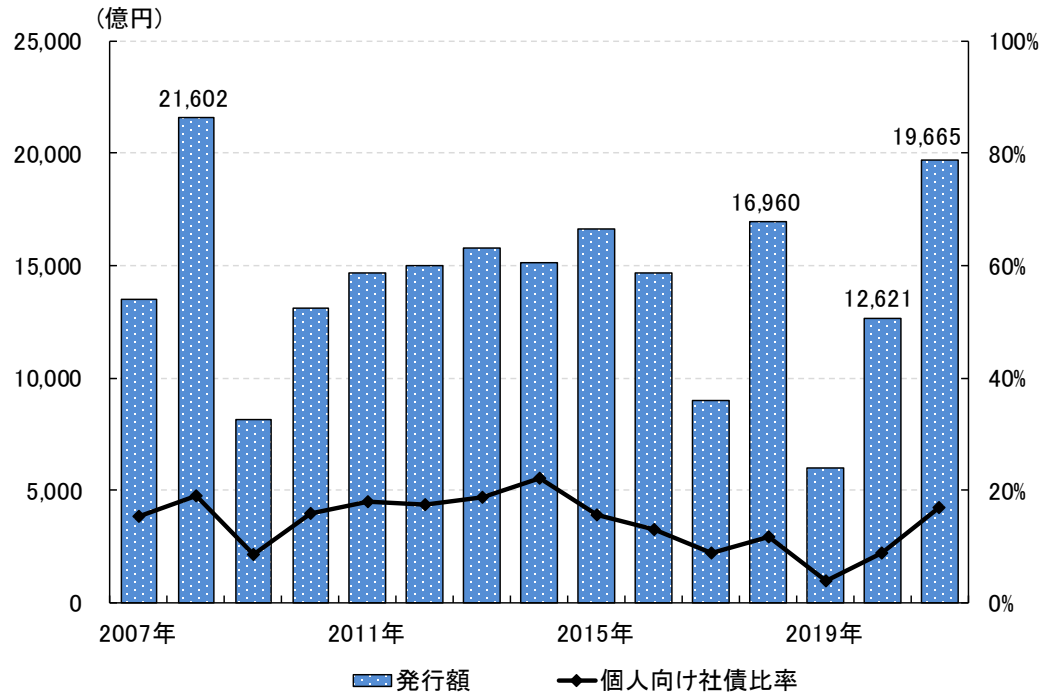
※「その他」の内訳

サントリーホールディングス(2544)、SOSiLA物流リート投資法人(2979)、
中央日本土地建物グループ(2988)、森ビル(3270)、JA三井リース(7174)、
三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(7197)、楽天カード(7336)、ホンダファイナンス(8461)、
東京電力パワーグリッド(9518)、JERA(9520)、東京電力リニューアブルパワー(9521)、投資法人20社、
政府関連機関(高速道路5社、新関西国際空港、成田国際空港、東京地下鉄、横浜高速鉄道、日本貨物鉄道)

- ・業種別ランキングでは、西日本高速道路、東京電力パワーグリッド等の発行により、その他が2兆5,782億円で1位となりました。
- ・上位5業種の発行総額全体に占める割合は67.4%となり、上位10業種では84.8%となりました。
- ・発行体別ランキングでは、ソフトバンクグループが9,350億円(8.1%)の個人向け社債(劣後特約付社債を含む)の発行で1位となりました。

2.普通社債(6)個人向け社債 発行額／発行体別ランキング

【2022年 発行額・個人向け社債比率】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【2022年 発行体別ランキング 上位5社】

順位(前期)	コード	発行体	発行額(億円)	シェア
1 (1)	9984	ソフトバンクグループ	9,350	47.5%
2 (2)	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2,570	13.1%
3 -	4755	楽天グループ	1,500	7.6%
4 -	8411	みずほフィナンシャルグループ	1,030	5.2%
5 -	8473	SBIホールディングス	1,000	5.1%

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【2022年 主幹事ランキング 上位5社】

順位(前期)	主幹事会社	関与額(億円)	シェア
1 (1)	三菱UFJモルガン・スタンレー	4,464	22.8%
2 (2)	大和	4,370	22.3%
3 (4)	みずほ	4,018	20.5%
4 (5)	野村	2,932	15.0%
5 (3)	SMBC日興	1,819	9.3%

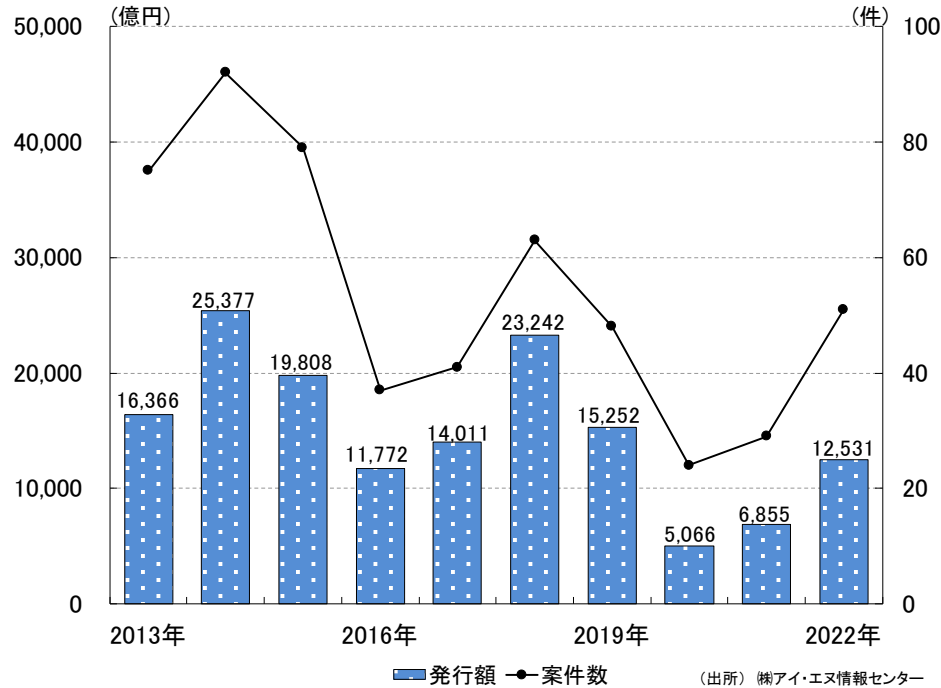
(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・発行額は、前年比55.8%増の1兆9,665億円となり、普通社債全体に占める個人向け社債の割合は17.0%となりました。
- ・発行体別ランキングでは、ソフトバンクグループが9,350億円(47.5%)で1位となりました。
- ・主幹事ランキングでは、三菱UFJモルガン・スタンレー証券が4,464億円(22.8%)で1位となりました。

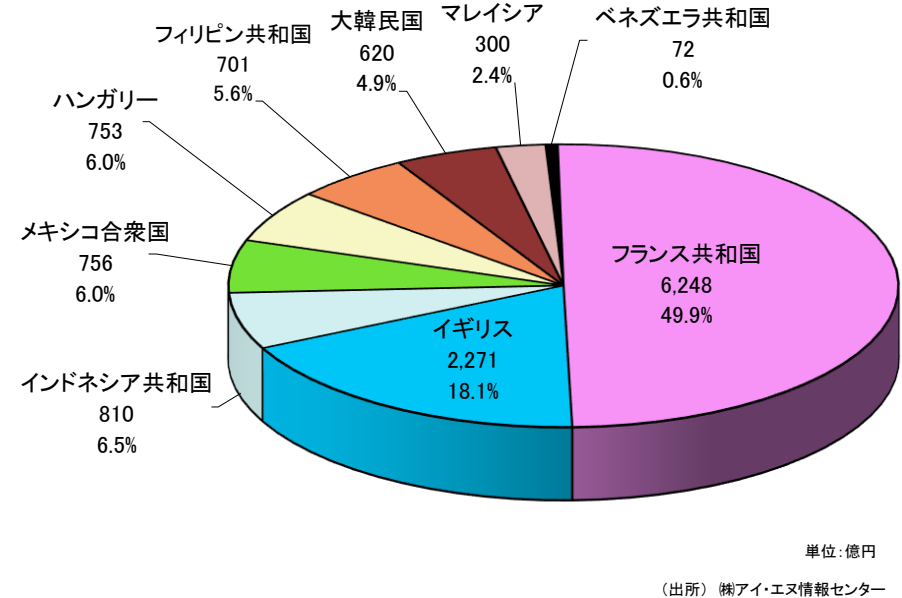
※あかつき本社#27～33(計70億円)、丸井グループ#1～2(2.4億円)は、主幹事会社の設定がない為、集計に含まれません。

5. サムライ債（1）発行額

【2013年～2022年 発行額・案件数】



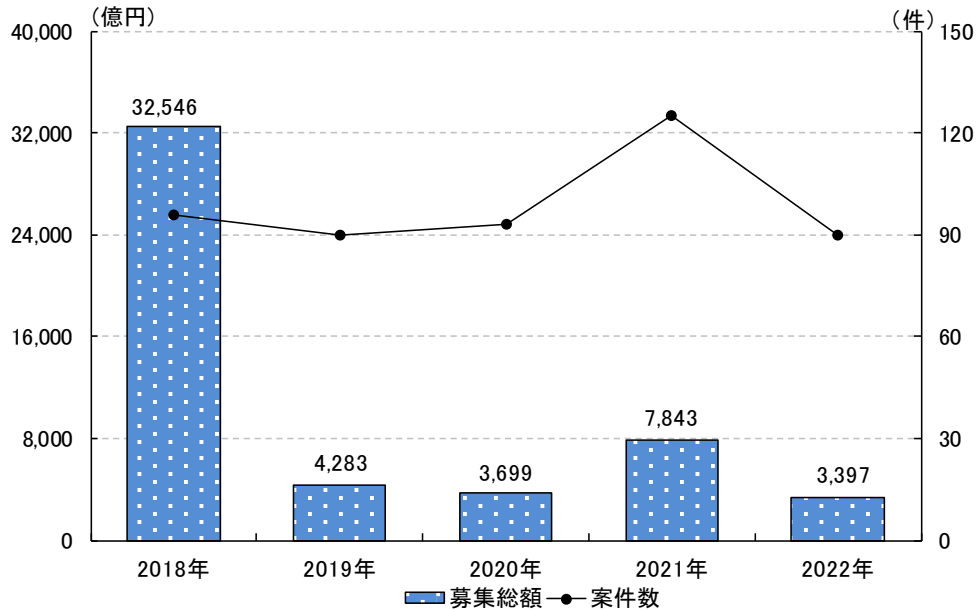
【2022年 国籍別発行シェア】



- ・発行額は、前年比82.8%増の1兆2,531億円となり、案件数は前年より22件増の29件となりました。
- ・発行体の国籍数は9カ国となり、発行額ではフランス共和国が49.9%のシェアを占め1位となりました。

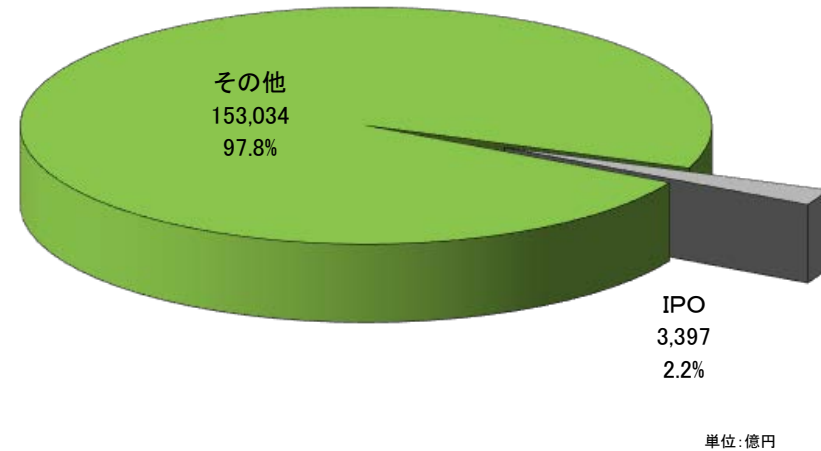
6. 新規公開(1)募集額

【2018年～2022年 募集総額・案件数】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【2022年 資金調達総額】



単位: 億円

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・募集総額は、前年比56.7%減の3,397億円となり、案件数は35件減の90件となりました。
- ・募集総額規模別では、30億円未満が69件、30億円以上が10件、50億円以上が8件、300億円以上が2件、500億円以上が1件となりました。
- ・資金調達総額全体に占める割合は2.2%となりました。

6. 新規公開（2）業種別／発行体別ランキング

【2022年 業種別ランキング】

【2022年 発行体別ランキング】

順位 (前期)	業種	募集額 (億円)	シェア
1 (3)	サービス業	1,113	32.8%
2 (2)	電気機器	768	22.6%
3 (1)	情報・通信業	448	13.2%
4 -	空運業	374	11.0%
5 (8)	食料品	113	3.3%
6 (20)	保険業	92	2.7%
7 (9)	医薬品	78	2.3%
8 (15)	小売業	77	2.3%
9 -	証券・商品先物取引業	75	2.2%
10 (14)	不動産業	72	2.1%

順位	コード	発行体	業種	発行市場	募集方法	主幹事会社	募集額 (億円)	シェア
1	6526	ソシオネクスト	電気機器	グローバル	売出	SMBC日興 他3社	768	22.6%
2	9336	大栄環境	サービス業	グローバル	公募・売出	SMBC日興 他1社	498	14.7%
3	9204	スカイマーク	空運業	グローバル	公募・売出	Morgan Stanley & Co. International plc 他5社	374	11.0%
4	7388	FPパートナー	保険業	国内	公募・売出	大和	90	2.6%
5	9216	ビーウィズ	サービス業	国内	公募・売出	みずほ	85	2.5%
6	5834	SBIリーシングサービス	証券・商品先物 取引業	国内	公募・売出	大和 他2社	75	2.2%
7	9229	サンウェルズ	サービス業	グローバル	公募・売出	野村	65	1.9%
8	9552	M&A総合研究所	サービス業	グローバル	公募・売出	野村	64	1.9%
9	9341	GENOVA	サービス業	グローバル	公募・売出	SBI	63	1.9%
10	2936	ベースフード	食料品	グローバル	公募・売出	三菱UFJモルガン・スタンレー	59	1.7%

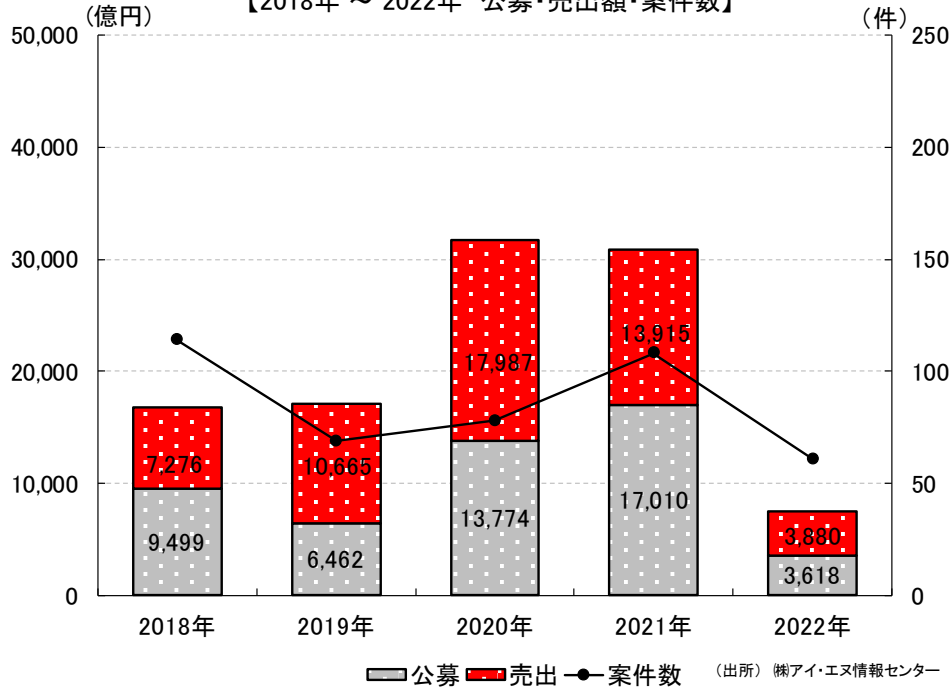
※業種は、東証33分類。 (出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

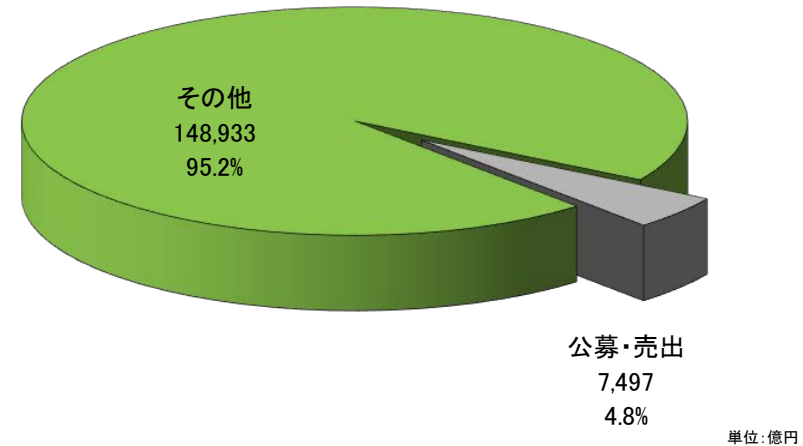
- ・業種別ランキングでは、サービス業が32.8%を占め、1位となりました。
- ・業種別ランキングでは、上位3業種で68.6%を占めました。
- ・発行体別ランキング上位10社中7社がグローバル市場での発行となりました。

7. 公募・売出 (1) 募集額

【2018年～2022年 公募・売出額・案件数】



【2022年 資金調達額】



- ・公募・売出の募集総額は、前年比75.8%減の7,497億円となり、案件数は47件減の61件となりました。
- ・公募は、前年比78.7%減の3,618億円、売出は72.1%減の3,880億円となりました。
- ・資金調達全体に占める割合は、4.8%となりました。

7. 公募・売出 (2) 業種別／発行体別ランキング

【2022年 業種別ランキング】

順位 (前期)	業種	募集額 (億円)	シェア
1 (3)	投資法人	3,105	41.4%
2 (9)	化学	1,529	20.4%
3 (4)	情報・通信業	1,510	20.1%
4 (6)	不動産業	350	4.7%
5 -	石油・石炭製品	326	4.3%
6 (5)	陸運業	247	3.3%
7 (12)	卸売業	88	1.2%
8 (8)	小売業	86	1.1%
9 (1)	サービス業	57	0.8%
10 -	機械	50	0.7%

【2022年 発行体別ランキング】

順位	コード	発行体	業種	発行市場	形態	主幹事会社	募集額 (億円)	シェア
1	4612	日本ペイントホールディングス	化学	海外	売出	Merrill Lynch International 他3社	1,455	19.4%
2	4307	野村総合研究所	情報・通信業	グローバル	売出	野村	1,280	17.1%
3	3481	三菱地所物流リート投資法人	投資法人	グローバル	公募・売出	SMBC日興、Morgan Stanley & Co. International plc 他4社	451	6.0%
4	8951	日本ビルファンド投資法人	投資法人	グローバル	公募・売出	野村 他1社	330	4.4%
5	5021	コスモエネルギーホールディングス	石油・石炭製品	海外	売出	J.P.Morgan Securities plc	326	4.3%
6	3281	GLP投資法人	投資法人	グローバル	公募・売出	野村 他9社	321	4.3%
7	4666	パークニ四	不動産業	海外	公募	J.P.Morgan Securities plc	263	3.5%
8	3283	日本プロロジスリート投資法人	投資法人	グローバル	公募・売出	Morgan Stanley & Co. International plc 他9社	256	3.4%
9	9143	SGホールディングス	陸運業	グローバル	売出	三菱UFJモルガン・スタンレー	247	3.3%
10	4483	JMDC	情報・通信業	海外	公募	Mizuho International plc 他3社	203	2.7%

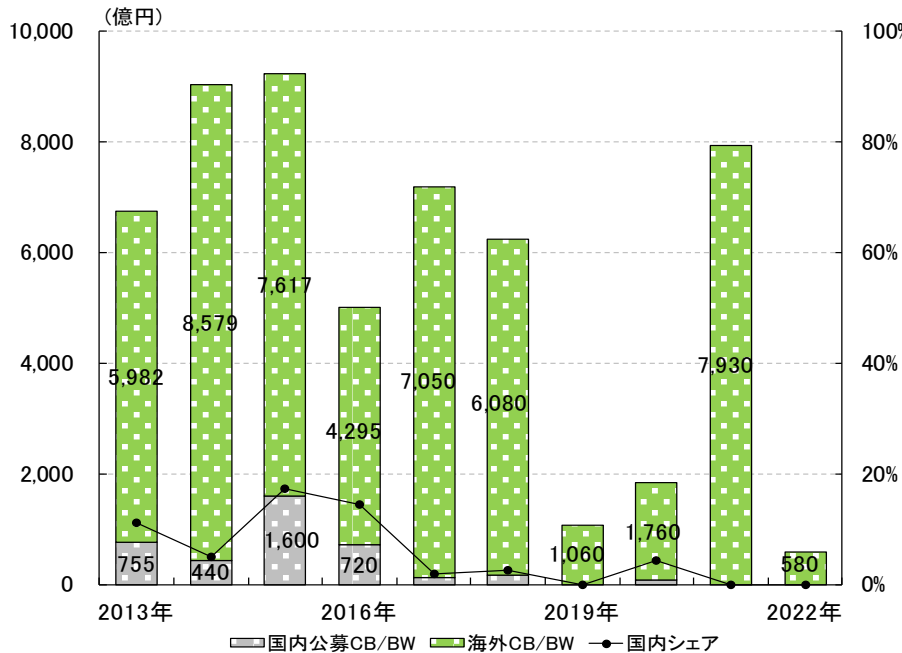
※業種は、東証33分類。(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・業種別ランキングでは、投資法人が1位となり全体の41.4%を占めました。
- ・業種別ランキング上位3業種(投資法人、化学、情報・通信業)のシェアは、81.9%を占めました。
- ・発行体別ランキング上位10社全社が、グローバル・海外市場での実施となりました。

8. 転換社債

【2013年～2022年 発行額】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【2022年 発行体別ランキング】

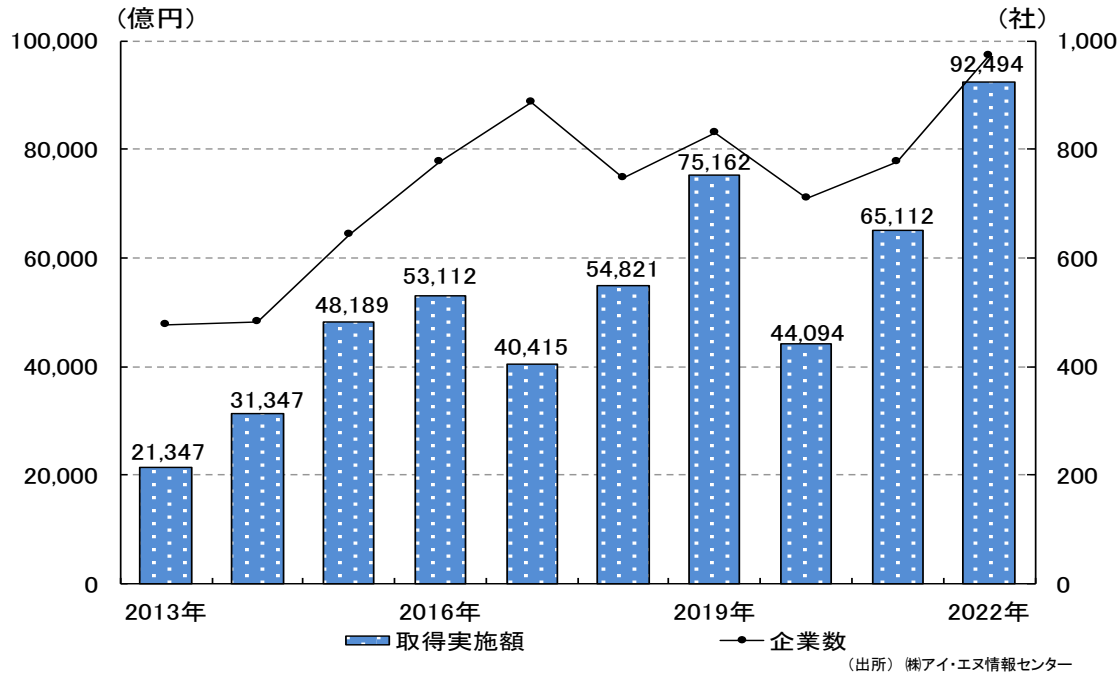
順位	コード	発行体	業種	発行市場	募集額 (億円)	主幹事会社
1	4751	サイバーエージェント	サービス業	海外	400	Daiwa Capital Markets Europe Limited
2	4206	アイカ工業	化学	海外	180	Daiwa Capital Markets Europe Limited

(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・転換社債の発行額は、前年比92.7%減の580億円となりました。
- ・発行体別ランキングでは、サイバーエージェントとアイカ工業の海外CBのみの発行となりました。

9. 自己株式(1) 取得

【2013年～2022年 取得実施総額・企業数】



【2022年 業種別ランキング 上位5社】

順位 (前期)	業種	金額 (億円)	シェア
1 (1)	情報・通信業	22,456	24.3%
2 (3)	電気機器	11,919	12.9%
3 (5)	輸送用機器	6,925	7.5%
4 (12)	銀行業	6,245	6.8%
5 (10)	化学	5,825	6.3%

(出所) (株)アイ・エヌ情報センター

【2022年 発行体別ランキング 上位5社】

順位 (前期)	コード	発行体	金額 (億円)	シェア
1 (1)	9984	ソフトバンクグループ	13,722	14.8%
2 (51)	8306	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4,274	4.6%
3 (5)	7203	トヨタ自動車	4,215	4.6%
4 (2)	9432	日本電信電話	3,603	3.9%
5 (6)	9433	KDDI	2,523	2.7%

(出所) (株)アイ・エヌ情報センター

・取得実施総額は、前年比42.1%増の9兆2,494億円となりました。金庫株解禁(2001年10月1日商法改正)以降、過去最高額となりました。

(参考 2019年: 7兆5,162億円)

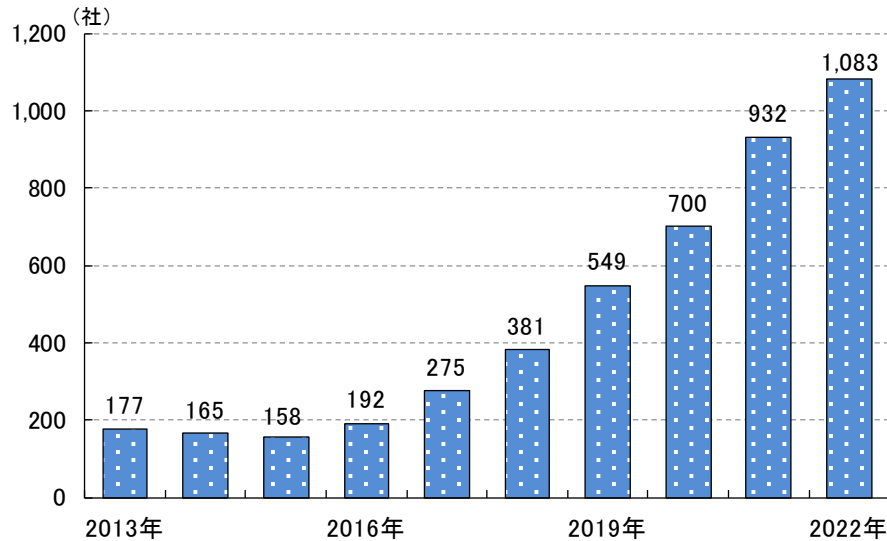
・業種別ランキングでは、情報・通信業が1位となりました。

・発行体別ランキングでは、ソフトバンクグループが1兆3,722億円で前年に引き続き1位となりました。

※【自己株TOB】公開買付中の価格未定案件: 光通信(9435)

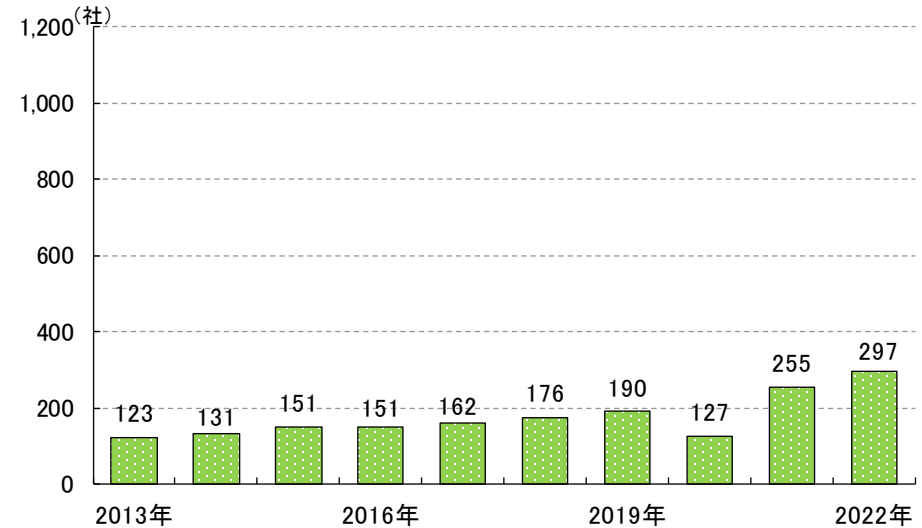
9. 自己株式(2) 処分・消却

【2013年～2022年 処分公表企業数】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

【2013年～2022年 消却公表企業数】



(出所) ㈱アイ・エヌ情報センター

- ・処分公表企業数は、前年より151社増の1,083社となり、金庫株解禁(2001年10月1日商法改正)以降、過去最高社数となりました。
また、1,083社中1,060社が第三者譲渡による処分を行いました。
- ・消却公表企業数は、前年より42社増の297社となり、金庫株解禁以降、過去最高社数となりました。

このレポートのクライテリアについて

集計カテゴリー	普通社債	公募で発行された一般事業債、電力債(10電力+東京電力パワーグリッド)、銀行債、投資法人を対象に集計。自社債を含む。公的資金発行、国債、政府保証債、地方債、財投機関債を除く。
	証券化商品 (ABS)	国内公募ABS、サムライ公募ABS、財投機関国内公募ABSを対象に集計。
	サムライ債	公募案件を対象に集計。 TOKYO PRO-BOND Market上場銘柄を対象に集計。 アルゼンチン共和国のエクステンジ・オファー(債券の交換)案件は集計対象外。
	新規公開、公募・売出	普通株式、投資口を対象に集計。種類株式、新株予約権を除く。 オーバーアロットメントによる売出を含む。
	転換社債	転換社債型新株予約権付社債(50名以上の募集)を対象に集計。
	自己株式	普通株式を対象に集計。金庫株解禁以降(2001年10月1日商法改正)を対象に集計。
集計方法	額面で集計。 普通社債、個人向け債券、財投機関債、証券化商品(ABS)、サムライ債は日本国内で発行された案件を対象に集計。 新規公開、公募・売出、転換社債は、日本の国内企業が国内または海外で発行した案件を対象に集計。 各係数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合有り。	
ランキング	ランキングは、引受額比率で集計。ただし、引受額が不明な案件は主幹事数按分で集計。 上位5社または上位10社までを対象に集計。 金融機関名称は、2022年12月31日時点の名称。 金融機関名は、弊社が設定したグループ名で表示。集計は、国内外の実績を合算。	
集計対象期間	2022年12月31日までを対象に集計。	
集計日ベース	普通社債、財投機関債、証券化商品(ABS)、サムライ債は発行日ベースで集計。 新規公開、公募・売出、転換社債は、効力発生日(受渡日・新規公開日)ベースで集計。 自己株式は、適時開示されたものを公表日ベースで集計。	

PRONEXUS
GROUP



株式会社 アイ・エヌ情報センター
I-N INFORMATION SYSTEMS, LTD.

本内容についてのお問い合わせ
（株）アイ・エヌ情報センター
E-mail: support@indb.co.jp
<https://www.indb.co.jp/>



公式 Twitter

<https://twitter.com/indbgraphreport>



最新の経済指標やファイナンス情報などを【経済グラフ】や
【レポート】など、ビジュアルな形で分かりやすくご紹介します。